

授業の概要

臨床で製作頻度の高い全部金属冠の要件を十分に満たす製作法に習熟する。歯冠崩壊の大きな支台歯を想定したメタルコアを製作し、支台築造の目的と基本的な支台歯形態を学ぶ。暫間修復物の目的を理解し、製作法とその注意点を学ぶ。陶材焼付金属冠の基本的な窓あけ形態を理解し、操作手順について学ぶ。

- 教科書：最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版）
- 授業時間：月曜日 18：50～21：15
- オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 月曜日 17：00～17：45
- 成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。
- 注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。
- 授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。
- 準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。
- 準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。
- 実務経験：市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から、わかりやすく丁寧に教えていく。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第1回4月1日 市川 裕美 齋藤 晴信 倉田 由香 藤倉 亮	1. 前期実習の概要 2. 作業用模型製作 1) 6 5 ⑤ 6 ⑦ 2) 7 4 3 6 3) <u>1 2 3</u> 4) <u>6</u> 5) 上下顎研究用模型 6) 対合歯列模型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期実習の概要について理解する。 ・ 正確で操作性の良い歯型可撤式模型の製作方法および取り扱いの注意点について理解する。 ・ 印象に石膏を注入する方法を修得する。
第2回4月8日 市川 裕美 他	2. 作業用模型製作 1) 6 5 ⑤ 6 ⑦ 2) 7 4 3 6 3) <u>1 2 3</u> 4) <u>6</u> 5) 上下顎研究用模型 6) 対合歯列模型	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダウエルピン植立の注意点を理解し、正確な歯型可撤式模型の製作方法を修得する。 ・ 印象に石膏を注入する方法を理解する。
第3回4月15日 市川 裕美 他	2. 作業用模型製作 <u>7 4 3 6</u> 1) ダウエルピン植立 2) 台付け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯型調整の目的を理解し、歯頸部辺縁形態の違いによる調整法を修得する。 ・ <u>7 4 3 6</u> の作業用模型を調整し、咬合器に装着する方法を修得する。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第4回4月22日 市川 裕美 他	3. 咬合器装着 <u>7 4</u> <u>3 6</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯型調整の目的を理解し、歯頸部辺縁形態の違いによる調整法を修得する。 ・ <u>7 4</u> <u>3 6</u> の作業用模型を調整し、咬合器に装着する方法を修得する。
第5回5月13日 市川 裕美 他	3. 咬合器装着 <u>7 4</u> <u>3 6</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯型調整の目的を理解し、歯頸部辺縁形態の違いによる調整法を修得する。 ・ <u>7 4</u> <u>3 6</u> の作業用模型を調整し、咬合器に装着する方法を修得する。
第6回5月20日 市川 裕美 他	4. <u>7</u> <u>3</u> メタルコア 製作 1) ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修復部位を考慮したメタルコアの基本形態を理解し、製作方法と注意事項を理解する。
第7回5月27日 市川 裕美 他	4. <u>7</u> <u>3</u> メタルコア 製作 1) <u>7</u> <u>3</u> ワックスアップ 2) 埋没	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修復部位を考慮したメタルコアの基本形態を理解し、製作方法と注意事項を理解する。 ・ メタルコア埋没時のスプルー植立位置と埋没の注意事項を理解する。
第8回6月3日 市川 裕美 他	3) <u>7</u> <u>3</u> 鋳造 4) 形態修正 5. <u>6</u> 全部金属冠 製作 1) <u>6</u> ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋳造の一連の操作について習熟する。 ・ 歯列に調和した全部金属冠のワックスアップを、制限時間内に製作する技術を修得する。
第9回6月10日 市川 裕美 他	4) <u>7</u> <u>3</u> 形態修正	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上部修復物を考慮し、保持力が十分に発揮できるメタルコアの形態と研磨法を修得する。
第10回6月17日 市川 裕美 他	6. 陶材焼付金属冠窓 開け形態 1) <u>4</u> ワックスアップ 2) <u>4</u> 陶材焼付金属冠 窓あけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前装冠の歯冠外形を回復する意義を理解し、正確な歯冠形態を回復する技術を修得する。 ・ 陶材焼付金属冠のフレーム形態を理解し、窓あけの方法と注意点を理解する。 ・ プロビジョナルクラウンの目的を理解し、常温重合レジンを使用した製法を理解する。 ・ 陶材焼付金属冠の前装部窓あけの方法と技術を修得する。
第11回6月24日 市川 裕美 他	6. 陶材焼付金属冠窓 開け形態 1) <u>4</u> ワックスアップ 2) <u>4</u> 陶材焼付金属冠 窓あけ 7. <u>3</u> プロビジョナル クラウン製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロビジョナルクラウンの目的を理解し、常温重合レジンを使用した製法を修得する。 ・ 陶材焼付金属冠の前装部窓あけの方法と技術を修得する

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第12回7月1日 市川 裕美 他	7. <u>3</u> プロビジョナルクラウン製作	<ul style="list-style-type: none"> プロビジョナルクラウンの目的を理解し、常温重合レジンを使用した製作法を修得する。
第13回7月8日 市川 裕美 他	7. <u>3</u> プロビジョナルクラウン製作	<ul style="list-style-type: none"> プロビジョナルクラウンの目的を理解し、常温重合レジンを使用した製作法を修得する。
第14回7月22日 市川 裕美 他	8. <u>1 2 3</u> 作業模型 1) ダウエルピン植立 2) 台付け 3) 研究用模型咬合器装着実習	<ul style="list-style-type: none"> 反対側同名歯の形態を参考に、歯列に調和した歯冠形態の形成法を理解する。 前歯部前装鑄造冠の製作工程、適切なアンテリアガイダンスの付与、連続冠の連結部形態について理解する。 操作性の良い正確な作業模型の製作法を理解する。 研究用模型の目的を理解し、上下顎模型を咬合器に装着する方法を理解する。 操作性の良い正確な作業模型の製作法を修得する。 研究用模型の目的を理解し、上下顎模型を咬合器に装着する。
第15回7月29日 市川 裕美 他	8. <u>1 2 3</u> 作業模型 3) 研究用模型咬合器装着 4) 作業用模型咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> 研究用模型の目的を理解し、上下顎模型を咬合器に装着する。 歯型調整の目的を理解し、歯頸部辺縁形態の違いによる調整法を理解する。 付着された研究用模型に上顎作業模型を正確に装着する方法と技術を修得する。
第16回8月19日 市川 裕美 他	8. <u>1 2 3</u> 作業模型 3) 研究用模型咬合器装着 4) 作業用模型咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> 適切なアンテリアガイダンスを付与するため、咬合器の前方制御部として、切歯路角を再現する目的と操作方法を修得する。 研究用模型の目的を理解し、上下顎模型を咬合器に装着する。 歯型調整の目的を理解し、歯頸部辺縁形態の違いによる調整法を理解する。 装着された研究用模型に上顎作業模型を正確に装着する方法と技術を修得する。 咬合器の前方制御部として、切歯路を再現する目的と操作方法を理解する。